

気持ちを一つに、全力疾走

～南高祭三日目・体育祭～

竹田南高校新聞

発行所 竹田南高等学校
〒974-6323 大分県竹田市大字竹田2509
TEL 0974-63-3223
FAX 0974-63-1399
印刷所 朝日印刷

一人一人が輝く体育祭を



青・赤組団長 山口博由・佐藤平君



入場は駆け足で



まず、選手は全員駆け足で入場し整列。教頭先生により開会宣言が行なわれた。開会式では、昨年優勝の青組から優勝旗返還がされ、理事長先生や校長先生、保護者会長さんの挨拶があった。また山田生徒会長が「共に気持ちを高め、楽しい体育祭にしましょう」と述べた。次に、青・赤の山口博由・佐藤平両団長が

九月二十七日、前日の文化祭が見事成功を収め興奮冷めやらぬまま、本校のグラウンドにて体育祭が開催された。南高祭も三日目となり、午前中は秋晴れの心地よい天候となり、気持ちよく最終日を迎えた。午後から多少天気は崩れたが、全校生徒が一丸となり無事終えることが出来た。

「着海のごとく爽やかに、朱雀のように情熱の気迫で、一人一人が輝く体育祭にすること

気迫に満ち溢れた走り

100M走は、皆クラウチングスタートで、どのレーンを走るかはくじ引きで決めた。一位でゴールした選手にはメダルも用意されていた。どの選手も最後まで気迫に満ち溢れた走りを見せていた。一年生は、緊張した表情は見られず、ゴールまで走りきることに懸命だった。



軽やかな走りを 3年



皆必死に 2年



ゴールまで全力で 1年

を誓います」と選手宣言をした。準備体操を古賀体育委員長の指揮で行ない、場へ向かった。最後に田上先生の諸注意で開会式は終了。退

二年生は、プログラム最初の競技であったが、全力で走り抜け、会場を盛り上げてくれた。三年生は勝ち負けにこだわった様子を見せずに、レース中も終始笑顔で、高校生活最後の走りを楽しんでいるようであった。



完全燃焼! 全員で記念写真



胴上げも 赤組



優勝旗授与にて 赤組



閉会后 皆で集まり 青組

各学年、持ち味を出して

学年毎の競技では、それぞれの学年の持ち味がうまく出ていた。一年生は食べ物競争

をした。マナーを守り、手洗い、食前後の挨拶もして食べ、完食するとゴールへダッシュと



微笑ましい場面も

というサブタイトルを付け、美味しいパンにたどり着くために、麻袋を履いたり輪投げをしたり、様々な障害物を越えていた。最終組は、パンを下げた棒を持った生徒が走ったため、食べる方も必死になっ

いうルール。最終組は手洗い用の水を頭から被るなど、パフォーマンスが多目立った。二年生は、パン食い競争を、「世の中そんなに甘くない」というサブタイトルを



パンが取れません 2年



プリンを一気飲み 1年

改め、「運送競争」を行なった。風船を膨らまし割った後、運命が書かれた紙を選びゴールへ。ゴール前では先生方と四人五脚をするなど、それぞれ面白いゴールを見せてくれた。